

メールマガジンアーカイブ

2010/1/28 井上さん、ついに投資家になる！！(10)

メルマガアーカイブTOPに戻る

▣ リスクマネジメントラボラトリーのHPへ



すぐに見える！ Vol.23

忙しいドクターのための資産運用

～ 井上さん、ついに投資家になる！！(10)～

こんにちは、リスクマネジメント・ラボラトリー 代表の中澤です。

このシリーズでは積立投資についてRML社のスタッフの例を対談形式でお伝えしたいと思います。

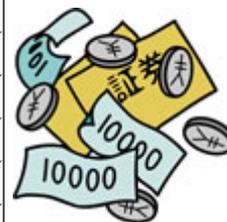
37歳女性・RML社IT戦略室の井上が、将来の為に資産運用をどうすればよいか？（まったくの素人）相談を始めました。。



[前回のコラム「井上さん、ついに投資家になる！！\(9\)」バックナンバーへリンク](#)

井上さんの投資の現状(2009年12月末)

	累計投資額	現在の評価額	評価損益	評価損益率
2008年6月末	2,100,000	1,853,005	-246,995	-11.76%
2008年9月末	2,400,000	1,789,743	-610,257	-25.42%
2008年12月末	2,700,000	1,699,959	-1,000,041	-37.04%
2009年3月末	3,000,000	1,986,308	-1,013,692	-33.79%
2009年6月末	3,300,000	2,574,375	-725,625	-21.99%
2009年9月末	3,400,000	2,865,967	-534,033	-15.71%
2009年12月末	3,700,000	3,348,320	-351,680	-9.50%



日興での積立は7月までで停止
10月から楽天証券で10万円/月の積立再開

毎月の積立	2,300,000	2007年9月から2009年12月(毎月10万円)。累計投資月数26ヶ月。
2008年2月	600,000	毎月積立でている4種類のファンドを追加購入。
2008年4月	500,000	数年で解約する可能性もある資金なので海外債券ファンドを購入。

2009年8月	2,947,818	日興で保有している分をすべて解約。 その分で楽天グローバルバランスファンドにシフト。
---------	-----------	---

日興から楽天に移す手続の関係で8月、9月は積立ができませんでした。2007年9月から開始した投資の累計額は370万円。

それに対して2008年12月末での評価額は334万円強と約9.5%のマイナスです。

8月に購入した楽天グローバルバランス(積極型)は約3.4%値上がりしました。

- 後日 -

井上 去年のお正月にはどうなることかと思いましたがずいぶんと回復してきましたね。上の表を見ると一年前は37%もマイナスだったんですね。前回のレビューのときにも話が出ま



したが、良いタイミングで購入するというのは本当に難しいんですね。

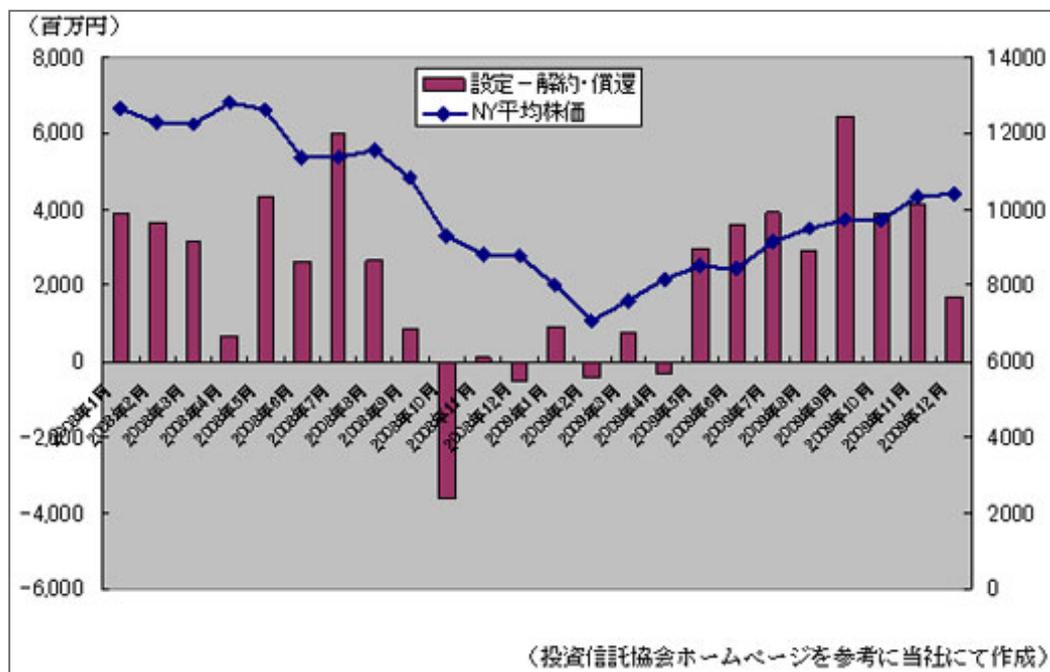


中澤 下のグラフを見てください。棒グラフと折線グラフが相関しているのが見てとれますよね。

何のグラフかというと日本国内で販売されている投資信託(棒グラフ)とNYダウ平均株価(折線)をあらわしています。

投資信託(棒グラフ)は、毎月新しく設定されるものから同じ月に解約・償還(満期)になったものを引いた数字です。つまり、月ごとに購入した人の方が多かったのか、解約した人の方が多かったのかの目安と見ることができます。

2008年の夏、リーマンショックの直前に多くの人が投資信託を購入し、その反対にリーマンショックの直後から2009年5月ごろまでは購入した投資家は少なく、多くの投資家が今から見ると安値で解約していたことがわかります。



井上 本当ですね。09年春になり、少しづつ株価が回復してくると、また購入する投資家が増えていますね。前回のレビューのときにも出ましたが、本当に良いタイミングで購入するのは難しいんですね。

中澤 『相場は悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観の中で成熟し、幸福感の中で消えていく』。これはアメリカの有名な相場の格言ですが、ここ数年のグローバル経済の進展にともなう世界的な株価の上昇を振り返るとまさにこの通りになっていますね。

ただ、実際にはマスメディアなどが悲観的なニュースを連日報道している中で投資を継続したり開始したりするのはとても困難なことは上のグラフを見てもよくわかりますよね。

そこでポイントになるのが投資の期間による商品の選択ということになります。

悲観の中に相場が生まれそうな時期なのかもっと値下がりするのか、幸福感がまだ続くのかそろそろ値下がりするのかはだれもわかりません。

井上 そうですよね。だから長期的に使わなくて良い資金で投資する必要があるわけですね。そうすれば、仮に一時的にマイナスの時期が多少長くあったとしても次の波がくるまで待つことができますよね。

ところで日本航空の株はどうなんですか？ 株価が7円ぐらだと聞いたんですが、7万円分購入して10円になったらあっという間に3万円も儲かってしまいます。

中澤 じつは日本航空の株式についてのお問合せはかなり多いです。なくなってもいいぐらいの資金で買うのはどうか。表がでたら短期間で儲かるのではないか。というのがお問合せをされる方の考えのようです。

井上 私もそう思います。

中澤 遊びで購入する分には良いと思いますが合理的に考えるならお勧めはできません。

仮に裏がでて上場廃止になり『0』になっても良い資金として7万円を投資したとします。上場維持の方針が決まると恐らく注目をされているだけに短期間で10倍ぐらいにはなるかもしれません。63万円の利益です(手数料・税金考慮せず)。一方上場廃止になると1円と2円を行ったりきたりしながら最後は1円になって取引終了になります。

上場廃止になる前日に購入する人はいませんから(売却する機会がなくなる)事実上0円となり7万円の損出です。

これによって失った7万円はどれだけ時間を費やしても回復不可能になります。



井上 私の投資は一時的にマイナスであっても時間の経過の中で回復する可能性が高いですよ。

中澤 仮にこの投資家が投資に回せる資金が5000万円あったとしましょう。その5000万円で日本の10年国債を購入すると1年後に受取ることができる利息は67.5万円になります(国債金利1.35%の場合)。こちらはスリルもなければ予想が当たったときの快感もありませんが確実です。

井上 こんなところでも『金持ち喧嘩せず』、ですね。

中澤 先進国の国債の金利は約3%程度ですから、2100万円の投資で同程度の収益を得ることができます。この場合は為替の変動がありますから円高方向にいった場合には時間がかかってきます。

このように考えていくと井上さんが保有しているような**国際分散型のファンドにある程度まとまった金額で、かつ当面使わない資金を投資をしたほうが時間はかかるかもしれませんが確実に収益が得られると考えることができます。**

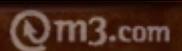
井上 なるほど。あくまでも遊び感覚で、ということですね。

このコラムは2010年1月14日に行われた面談をもとに書かれています。日本航空の株価は1月13日終値です。

 積立投資について、相談したい

是非、コンシェルジュにご相談ください!

▲ PAGE TOP



Copyright 2013 RML.All Rights Reserved.